

令和 05 年度				調査		
<div>補</div> 市道今町中央線（荒江8号橋）ほか橋梁補修詳細設計 業務委託				設計書		
委託番号				施工地		
道メ委第2号				見附市 今町3丁目ほか 地内		
		実施・元		変更		
設計額		円		円		
契約額 (内消費税額)		(円)		(円)		
委託・履行日数		委託日数 120 日間 又は 完成期限 年 月 日		日間(付与日数 日間) 完成期限 年 月 日		
実施 (元) 設計概要	設計業務 橋梁補修詳細設計 N=4橋		変更 設計概要			

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099 ※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx ※	TFJxxxxxxxx ※	TYxxxxxxxx ※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※	
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※	SC900 ※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

調査業務委託仕様総括

本業務を受託した者は、新潟県土木部が定める「測量・設計・調査業務委託標準仕様書」及び添付の「特記仕様書」により、業務を実施するものとする。

調査業務委託条件総括表

本業務に関連する調査等が生じ、発注者（監督員を含む）から指示があった場合において、受託者は調査等に協力するものとする。

この他、以下の事項に留意して業務を行うものとするが、現時点で不明の点及び業務実施に伴い変更が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

1. 本業務に関連する業務または調整を図る機関について

(1) 関連する別途発注業務委託（☐ 以下のとおり ☒ なし）

(2) 業務の時間的制限（☐ 以下のとおり ☒ なし）

(3) 特別な関係機関協議の必要（☐ 以下のとおり ☒ なし）

(4) その他

2. 本業務実施において貸与する物品について

貸与品（☒ 以下又は別紙特記仕様書のとおりに ☐ なし）

・令和2年度 道メ委第1号 見附市道路施設（橋梁）定期点検 報告書

3. 用地（借地）および地元調整等について

(1) 用地（借地）の未処理箇所（☐ 以下のとおり ☒ なし）

(2) 近接作業制限（☐ 以下のとおり ☒ なし）

(3) その他

4. 成果品の納入および納入方法について

(1) 報告物品および提出部数

物品名	提出数	仕様等	電子化
報告書	2	横書きとし、A4縦版で製本	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
報告書原稿	—		—
図面		報告書に添付	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
図面原図	—		—
図面縮小版	—	A4版 (A3二つ折り) で製本、1部報告書に添付	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
図面縮小版原図	—		—
標本	—		—
設計業務等標準歩掛実態調査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—

注) 電子化が要の場合、利用するソフトウェア及び、保存する電子媒体について監督職員と協議すること。

(2) その他（特記事項）

5. 打合せ協議について

本業務においては、次のとおり打合せ協議を予定している。第1回打合せがある場合において、受託者は契約後速やかに監督員と協議して、打合せ日程を決定するものとする。

なお、立会い欄に印がある打合せ協議については、主任技術者が立会うものとする。

打合せ協議	回数	立会い	備考
第1回打合せ	1	<input type="checkbox"/>	
中間打合せ	1	<input type="checkbox"/>	
成果品納入時	1	<input type="checkbox"/>	

特記仕様書

第1編 共通編

第1章 総 則

第1条 適用

この特記仕様書は、新潟県土木部設計及び解析業務委託標準仕様書（以下「標準仕様書」という）第1102条14でいう特記仕様書で、「市道今町中央線（荒江8号橋）ほか橋梁補修詳細設計業務委託」（以下「本業務」という）に適用する。

また、本業務の遂行にあたっては、本特記仕様書、契約書、標準仕様書（最新版）によるものとし、必要に応じ、新潟県土木部測量作業標準仕様書及び地質調査業務委託標準仕様書を準用するものとする。

第2条 履行期間

履行期間は、契約の日から休日等を見込み120日間とする。

第3条 業務の着手

受託者は、契約締結後7日以内に業務に着手しなければならない。

第4条 管理技術者

標準仕様書第1107条3項で規定する技術士は建設部門（選択科目：鋼構造及びコンクリート）としRCCMの部門は「鋼構造及びコンクリート」とする。

同等の能力と経験を有する技術者とは、大学卒18年（短大・高専卒23年、高校卒28年）以上で、相当の能力と経験を有する者とする。

第5条 照査技術者

受託者は、標準仕様書第1108条2項（1）で規定する照査技術者を定めるものとする。

また、2項（2）で規定する技術士は総合技術監理部門（選択科目：鋼構造及びコンクリート）又は建設部門（選択科目：鋼構造及びコンクリート）とし、RCCMの部門は「鋼構造及びコンクリート」とする。

同等の能力と経験を有する技術者とは、管理技術者に準じる。

第6条 提出書類

受託者は、標準仕様書で定められている関係書類を作成し、提出するものとする。また、標準仕様書第1110条3項で規定する手続きを実施しなければならない。

第7条 打合せ

打合せは下記の区切りにおいて行うものとし、回数は3回とする。

- ・ 着手時
- ・ 中間時1回
- ・ 成果品納入時

第8条 安全等の確保

受託者は、交通管理者と密接な連絡を取り、業務実施中の安全確保に努めるものとする。

第9条 成果品

提出する成果品は下記のとおりとする。

- | | | |
|--------|-------|-----|
| ・ 報告書 | A 4 版 | 2 部 |
| ・ 概要版 | | 一式 |
| ・ 付属資料 | | 一式 |

第2章 設計業務等一般

第1条 使用する技術基準等

最新の技術基準及び参考図書には、標準仕様書に示す「主要技術基準及び参考図書」を含むものとする。

第2編 道路編

第1章 現地踏査及び補修設計

第1節 橋梁補修詳細設計

第1条 設計対象施設

橋梁補修詳細設計は、市道今町中央線「荒江 8 号橋」及び市道三林坂井線「荒江 2 号橋」、市道椿田 12 号線「椿田 8 号橋」、市道今町田井線「傍所 6 号橋」の 4 施設を対象とする。

第2条 業務内容

本業務は、設計図書に示す設計範囲において、橋梁補修詳細設計を行うものであり、前条の各施設について、定期点検で判明した損傷を従前の機能に回復（補強を除く）させることを目的とする。

受託者は、現場状況に応じた施工計画を立案し、工事の施工及び発注に必要な図面・報告書等を作成するものとする。

なお、業務実施にあたっては、標準仕様書第 6810 条に示す橋梁補強詳細設計を準用するものとし、次の項目について、業務を実施するものとする。

1) 現地踏査

沿道・交差・用地条件等の周辺状況を把握し、工事用道路・施工ヤード等の施工性の判断に必要な基礎的な現地状況を写真等で記録する。

2) 補修設計

定期点検結果に基づき、補修対策が必要な箇所の補修設計を行うものとする。補修項目として、ひびわれ補修設計、断面修復等が考えられるが、補修後の剥落対策が必要状態にある施設はこれを考慮した設計を実施するものとする。

1. 設計計画（補修工法の選定を含む）
2. 設計図
3. 数量計算
4. 照査
5. 報告書作成

3) 施工計画

仮設計画図、施工要領図等の作成を行い、工事工程表の作成を行うものとする。

4) 概算工事費

監督員と協議した単価と数量計算書、施工計画を基に各施設毎の概算工事費を算出するものとする。

なお、国土交通省積算基準ほか公的な積算基準に基づき算出するものとする。

※前述の積算基準類に歩掛、単価が掲載されていない場合は、最低3者以上の者からの見積りに基づき、最も安価な歩掛、単価を採用するものとする。

第3条 照査

照査技術者は、標準仕様書第6810条2(14)によって照査を実施し、照査の経緯・内容等を記録した結果について、管理技術者を通じて監督員に提出するものとする。

第4条 貸与資料

委託者は、本業務に必要な以下の資料及び図面等を受託者に貸与するものとする。なお、受託者は貸与資料を紛失、破損しないよう保管管理するとともに、委託者の承諾を得ないで他に公表、貸与してはならない。

本業務完了後、受託者は速やかに、貸与された資料を委託者に返還すること。

- ・定期点検報告書

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。
積算基準の機械運転単価表に記載のある「機-〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。
「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。
詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

設計業務委託 工事数量総括表

頁0-0006

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
設計業務委託						
橋梁設計			式			
橋梁補修設計			式			
橋梁補修詳細設計			式			
橋梁補修詳細設計			一式			
業務計画			業務		1	
既存資料の収集・整理			業務		1	
現地踏査			式		1	
外観調査			橋		4	
荒江8号橋補修設計			橋		1	
椿田8号橋補修設計			橋		1	
荒江2号橋補修設計			橋		1	
傍所6号橋補修設計			橋		1	
施工計画			橋		4	
概算工事費算出			橋		4	
照査			業務		1	
報告書作成			業務		1	
打合せ			式			

05-実施-委託-0515-当初

設計業務委託 工事数量総括表

頁0-0007

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
打合せ			式			
打合せ協議			式			
設計協議			一式			
設計協議			式		1	
直接作業費						
電子成果品作成費			式			
旅費・交通費			式			
旅費・交通費			式			
旅費・交通費 (率計上) (設計業務)			式		1	
間接作業費						
直接費						
その他原価						
間接費						
業務原価						
一般管理費等						
委託価格						
消費税相当額						
委託費						